



明石市立
文化博物館

文化博物館だより 第193号

2007年10月18日

みなさん、こんにちは。いよいよ秋本番です。芸術の秋、食欲の秋、スポーツの秋...
みなさんはどんなご予定ですか？

● 木喰展ギャラリートークがありました

10月13日(土) 秋季特別展「木喰展」のギャラリートークが行われ、多くの方にお集まりいただきました。それぞれの色の違いについて「木そのものの色でなく、燻されることによって色が変わる」と、館員によって製作の秘密が明かされました。参加者の方々から「木の材質は」「仏像の配置は」等の多くの質問が出されました。木喰仏ファンの方々の熱意ある質問を受け、ギャラリートークは時間を延長して行われました。



「このほとけさまは先日テレビに出演していました」

次回ギャラリートークは11月3日(土)にあります。また10月20日(土)には全国木喰研究会顧問大久保憲次氏による特別講演会もありますので、お楽しみに。

● リズミカルに「はた織り体験」



「ものすごい経験者みたいでしょう？」と笑う初体験の方

10月17日(水) 体験学習室において「はた織り体験」が行われ、3台のはた織り機を使ってさおり織りと大島つむぎの体験が行われました。

体験された方は「横糸を通して、足を踏み替えて、トントンする三つの動きのリズムが混乱してしまう。足を踏み替えたのに、それを忘れてまた踏み替えてしまう」と苦笑い。ボランティアさんは「はい、通して。はい、踏み替えて」と優しく掛け声をかけていました。

私も大島つむぎを織らせてもらいましたが、糸が細くて、おさ(横糸を通した後、横糸をしめるためにトントンする部分のこと)を強く動かすと糸が切れてしまいそうな気がして、あまり力を入れずにトントンしていると、逆に力が弱すぎたために織った部分が波打ってしまいました。見た目より糸は丈夫。きれいに織るためには力と度胸が必要と思いました。みなさんも是非体験してみてくださいね。